



今回は**骨粗鬆症のお薬**について勉強していきましょう。

骨粗鬆症の薬

骨粗鬆症の発病には、**加齢**や**閉経**以外にも**食事**や**運動の習慣**などが深く関わっています。食事療法や運動療法も骨粗鬆症の予防には欠かせません。しかし、骨粗鬆症と診断された場合には**薬**を使った治療が必要となります。薬を飲み始めても、**食事の内容に気をつけて、運動療法も出来る範囲**で続けてください。

では、骨粗鬆症の治療薬は作用によって次の3種類に分けられます。

①骨の代謝を調節する薬

腸管からのカルシウムの吸収を促進して、体内のカルシウム量を増やす薬

活性型ビタミンD3製剤

食事で摂取したカルシウムの腸管からの吸収を増す働きがあります。また、骨形成と骨吸収のバランスも調整します

商品名：アルファカルシドール・カルフィーナ・エディロール

②骨の形成を助ける薬

骨の形成を促進して骨を丈夫にしてくれる薬

ビタミンK2製剤

骨密度を著しく増加させませんが、骨形成を促進する作用があり骨折の予防効果が認められています。

商品名：グラケー・メナテトレノン

PTH製剤

骨を作るのを促進させてくれ、骨折するリスクを低化させてくれます。**1日1回**、患者さん自身が太ももなどに**皮下注射**をする必要があります。

この薬を使用できる期間は2年間と限られています。

商品名：フォルテオ



③骨の破壊を抑えてくれる薬

体の中ではたえず古い骨は壊され、新しい骨が作られています。骨が壊されるのを抑制する薬

女性ホルモン製剤(エストロゲン)

女性ホルモンの減少に起因した骨粗鬆症に有効です。閉経期のさまざまな更年期症状を軽くし、併せて骨粗鬆症を治療する目的で用いられます。

商品名：エストラナ・ホーリン・エストリール

ビスフォスフォネート製剤

骨吸収を抑制することにより骨形成を促し、骨密度を増やす作用があります。骨粗鬆症の治療薬の中で有効性が高い薬です。

破骨細胞に作用し、過剰な骨吸収を抑えます。骨吸収がゆるやかになると、骨形成が追いついて新しい骨がきちんと埋め込まれ、骨密度の高い骨が出来上がります。毎日飲むもの・週に1回飲むもの・1ヶ月に1回飲むものと生活のパターンに合わせて薬が選べます。

この薬は起床後、空腹時に内服し、その後**30分間は横**にならず、飲食も控えてください。

※この薬を飲んでいる時に歯科に受診する場合は、その旨を歯医者さんに伝えてください。

内服を辞めてからでないと治療ができない場合があります。

商品名：ベネット・アクトネル・リカルボン・ボノテオ・フォサマック・ボナロン・リセドロン

SERM(サーム：塩酸ラロキシフェン)

閉経後の女性に処方されるお薬です。女性ホルモンの1種としてエストロゲンがあります。閉経後の女性ではエストロゲンが少なくなっているため、このエストロゲンを補うことで骨量を増やせます。

骨密度を増加させます。

商品名：エビスタ・ビビアント・ランマーク

※ここに記載した薬の名前は一部です。
後発品を服用されている方は、薬の名前が載っていない事があるかもしてません。



文責：林 美樹

有限会社 **せがわ薬局**

石川県七尾市鍛冶町50番地

TEL 53-0810 FAX 53-3557

<http://www.segawa-pharmacy.com/>

